

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営 1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	大まかには理解しているが、はっきりとはできていない。事業所独自の理念を作成している。今後取り入れていく。	○	理念を見直す際にきちんと理解できるようにしていく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が見やすい場所に掲示している。業務を行う上で活かしている。	○	今後も継続していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	廊下に掲示している。パンフレットにも記載している。利用契約時に説明している。今後取り入れていく。	○	ホーム便りや運営推進会議で理解してもらえるようにしていく。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣の方の散歩や敷地の庭を散策に来られている。地区内行事及び合同で夏祭りを開催している。各研修への参加をしたり、小学校の体験学習、慰問の受け入れをしている。利用者への配慮を十分行い、家族の了解を得て各居室へ個人名を掲示している。	○	地域との交流を継続していきたい、及びボランティアの受け入れも行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議等で評価の説明を行い、全職員周知している。 自己評価は全職員に行っている為、理解している。 会議、カンファレンス等で話し合い、改善しサービス提供している。	○	改善した点も評価し、更に改善があったら見直していく。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	メンバーには会議では役割を理解していただいている。 雰囲気作り、情報交換しながら意見を言いやすいようにしている。 報告し意見交換している。	○	メンバーの情報、意見をもとに、サービスの質の向上に取り組んでいきたい。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	配布している。 行っている。 連携はとれている。	○	今後も継続していきたい。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会へ参加したり、勉強会で全職員へ周知する機会を設けている。 詳しくは理解できていない。	○	研修会の参加、ホーム内で勉強会を行い理解していく 必要な利用者への情報提供や支援を行っていく。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会へ参加したり、日々のケアの提供現場で虐待と思われる言動がないか、確認し防止に努めている。	○	研修会等への参加、虐待について理解していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明をし、家族からの質問や考えを聞き、再度説明し、理解をしてもらっている。退所時も同様である。	○	今後も理解、納得できるよう努めていきたい
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	調理に対する不満はあったりする。その都度対応している。 日頃から利用者との会話を行い意見等を察するようになっている。 出された意見、苦情は会議で話し合い今後に活かせるようにしている。	○	さらに信頼関係を持てるように努めていきたい。
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に状態報告している及び、ホーム便り記録ノートに記入し、見ていただいている。 金銭管理は、請求時に現金出納帳と領収書を添え、知らせている。 その都度、報告している。	○	今後も継続していきたい。
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置 玄関に運営規則を貼り、大きく苦情窓口者を記入している。 意見等あった場合は会議で話し合い、サービスに反映出来るようにしている。	○	意見苦情をサービスに活かせるようにもっと働きかけていきたい。
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議、申し送り等で聞く機会あり 月一回の会議を設け、話し合いを行い反映させている。	○	職員の意見をもっと反映出来るようにしていきたい。
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者、家族の状況変化等に対応できている。 代わりの職員を確保出来る体制をとっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	十分な配慮をし、移動、配置換えの際は説明を行っている。 新人職員を配置する際は、ケアの統一が出来るよう即時、指導を行っている。	○	さらに利用者の状態にあわせたケアが出来るように取り組んでいきたい。
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員の質の向上を図る為に各種、研修会へ参加、サービス中も職員間で声掛けし行っている。 復命書を提出し、会議の場で発表、勉強会を行っている。	○	研修、勉強会を継続していきたい。
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地区、外部研修先で知り合った他同業者との情報交換している。 月一回町内のグループホームだけ勉強会を行っている。	○	町内のグループホームとの交流、県及び西北五のグループホーム協会の加入の継続
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレス軽減の取り組みとして職員から話を聞く 職員間での旅行も行っている。		
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得を求め、常に向上心が持てるよう働きかけ、面談等も行っている。 就業規則に添って労働条件を整えている。 健康診断を実施し、心身の健康を保つようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談を受けた際は、家族等からよく話を聞き、希望、ニーズを把握するようにしている。説明も十分に行い、信頼、安心出来る様に対応している。	○	本人、家族等に十分配慮をし、ニーズ等を話しやすい環境づくりを行い、いろいろな場面で受け止められるようにしていく。
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族等からの話をきちんと傾聴し、ニーズを見極めできるよう行っている。対応できることはすぐ実施し、すぐできないことは家族と相談しながらできるよう検討している。関係機関との連携に努めている。		
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族等のニーズを受け入れ、サービス内容を説明して納得していただき、安心して入居できるようにしている。 雰囲気を感じてもらうため、見学を勧めている。	○	本人、家族に相談連絡して納得したサービスを提供していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族等から今までの生活歴、性格等を聞きいろんな場合で共感できるようにしている。	○	利用者の関係をくずさないようにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と連絡を密に取り合い、話しを聞き、家族の思いを把握している。面会時、状況報告をしている。問題が生じた場合、家族の協力を得て解決に努め、本人を支えていく関係を作っている。	○	十分把握しているとは言い難いので今後さらに働きかけたい。
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時に話す機会を設け、ニーズを把握できるようにしている。ほとんど面会がない家族へは電話やホーム便りを送付している。行事等には積極的に参加を働きかけている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等が面会に来たときは、自由に会話できるようにしている。また、通院等で知人と会ったときは少しでも長く会話できるように配慮している。本人の希望に応じて美容院は馴染みの店を大切にし、支援している。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	人間関係の把握は、一番難しくトラブルが生じないように十分な観察を行っている。また、会話の中へも職員も入り、よい関係が出来るよう支援している。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も行事等へ参加して下さる様招待状を送付している。必要に応じて相談出来る体制をとっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや、ニーズに耳を傾け常に把握出来る様努めている。	○	継続していきたい。
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族等から情報を聞き、把握出来る様にしている。 本人との会話からも情報収集している。		
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活リズム、体調については十分な観察を行い個人記録、チェック表に記入し把握出来る様にしている。	○	今後も継続していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	家族の参加は難しい為、面会の際に家族の意向を聞き、反映させた介護計画を作成している。必要に応じカンファレンスを実施している。	○	本人、家族のニーズ、状態に応じたプランの作成。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の状態変化に応じ、期間に関係なく見直しを行う。本人、家族とも話し合い納得した介護計画の作成を行っている。	○	今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録へ記入し、状態変化も記録している		
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	移送サービスの利用の支援		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員、ボランティアの依頼、協力を呼びかけ支援を得ている	○	さらに地域の方々に呼びかけていきたい。
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用する入居者はいない。	○	必要に応じて対応していきたい。
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在はないが、必要に応じ連携し支援していく。	○	必要に応じて連携、支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診支援ができており、気軽に相談できる体制が整っている。 専門医への受診が必要な時は家族と相談し受診している。 体調の変化、急変時いつでも適切な医療が受けられるようにしている。	○	継続していきたい。
41	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医に受診しており、利用者の状況を把握しており指示、助力してくれる。	○	継続していきたい。
42	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、24時間体制で健康管理や医療面での支援をしている。		
43	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	十分な情報交換や状況に応じた早期退院への体制は整えている。 必ず家族を含め（遠方の家族は電話）話し合いを行う体制が整えている。	○	現在受診している医療機関との体制を整えていきたい。
44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階で家族と話し合い、主治医の診察結果を家族に報告し、家族、職員と話し合いケアの統一が図られるようにしている。	○	さらに話し合いをかさね、支援していきたい。
45	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来る事、出来ない事を明確にし、主治医と共にチームとしての支援を行っている。	○	さまざまなケースに対応できるようにして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	入居前の環境を全職員が把握し、対応している 入居後は不安等がないよう面会、電話以来を働き かけている。	○	本人のストレスを最小限になるよう受容していき たい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	個人の人格、プライバシーを配慮して声掛けや対 応を行っている。秘密保持の契約をかわしてい る。 個人情報については十分に注意している。 但し、居室前に名前をつけているが、本人、家族 からの承諾を得ている		
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	本人との会話、表情から希望を把握できるよう努 めている。 本人が理解できるよう説明し自己決定できるよう に支援している。		
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	業務を優先せず、本人のペースに合わせた対応を している	○	今後も継続していきたい、及び食事の時間も本人 に合わせることもある。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	本人の好みに合わせている、美容院、理容院は事 業所で電話連絡、送迎支援している。 本人のなじみの店へ行くなど対応している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は色彩、盛り付け等にも配慮している。野菜を切ってもらったり、食器を拭いてもらったりしている。 昼食はスタッフと一緒にとっている	○	今後も継続したい。
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒については本人の状態に応じ、正月のみ少量提供している。 水分補給で季節感に応じ、冷たいもの（ジュース等）コーヒー等を提供している。	○	誕生日に好みのものを一品提供しており、今後も継続していきたい。
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用し、個人の排泄パターンをつかめるようにしている。 随時トイレ誘導している		
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	無理矢理入浴させず、本人の意志を尊重している。 温度も希望にあわせるようにしている。 入浴の順番トラブルがないようくじ引きを行っている。 入浴しない利用者は清拭、足浴を行っている。	○	しょうぶ湯、ゆず湯、りんごを入れるなどの入浴を取り入れていきたい。
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の運動を促しており、軽い疲労感を与え安眠できるようにしている。 不眠時は付き添ったり、会話をするなどの対応をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人が出来ることを行ってもらうなど、役割や買い物、ドライブへ行く等の支援をしている。	○	メリハリの目的が出来るようにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の利用者には少額ではあるが自己管理している。 買い物に行き楽しんでいる。	○	買い物に出かけて支払いができるようにしたい。
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望や買い物があれば買い物と一緒にいつている。但し、全員の希望に添うことは困難である。	○	少しでも希望に添えるようにしていきたい。 今後も買い物、ドライブは継続していきたい。
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠足等を行事に取り入れ外出支援している。 一部の利用者ではあるが、家族、兄弟と外出をしている。	○	今後も遠足やドライブは継続していきたい。
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を利用したい利用者への対応は行っている。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に面会できるようにしている。 本人とゆっくり会話できるよう配慮している。 宿泊の希望にも応じている。	○	面会時間の設定はあるが、時間外でも家族の都合に合わせて対応している。
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束について理解している。 危険が伴う利用者については書類を作成して記入してもらうようにしている。	○	身体拘束について十分理解し、拘束がないケアをしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個人居室にカギはかけない。 玄関ドアが自動ドアで開閉ボタンが手の届かない所にある為、戸外へ出るときは職員が付き添う等の支援をしている。	○	常に利用者に対して目配りし、行動を自由に出来るようにしていきたい。
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	内外を問わず常に状態観察、所在確認している。 姿が見えない際はすぐどこにいるか確認している。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所を確保しており、必要時には随時渡し、使用後は元の場所に戻すようにし、危険を防ぐようにしている。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットマニュアルを作成し、対応している。 転倒等の不安要素が高い利用者は注意して見守り声掛けを多く行っている。	○	見守り声掛けしているが転倒は見られる為、利用者の状況把握をしていきたい。
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	内部研修等を定期的に行い、対応できるようにしている。 マニュアル作成	○	今後も看護職員を中心に勉強会を行ってきたい。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年2回以上行っている。 緊急連絡網を作成している。災害時に備え備品を一式準備している。 地区の民生委員に話し、避難場所を住民の協力を得て確保している。	○	今後、地域の協力が得られるように働きかけていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時、本人の状況把握を行いケアの方法等を話し合うようにしている。		
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期発見に努めるようにしている。 毎日健康チェック（血圧、体温、脈拍、食事等）及び、毎日体重測定を行っている。 少しの変化でも見逃しがないよう記録、話し合い申し送りしている。場合により医療関係への受診もしている。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ケースに服用している薬品名や通院記録に記録している。 服用薬の変更時は年月日を記入し、記録ノートへの記入、職員へ通知するよう申し送りしている。		。
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動する時間を設けたり、朝食時牛乳の提供している。また、水分摂取するよう声掛けしている。 腹部マッサージを行うなど。	○	看護職員中心に便秘改善を行っていく。
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。 利用者への習慣をもたせ、声掛けを行っている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全体のバランスに注意し、摂取量の変化がある利用者については話し合い対応している。摂取状況の観察を行い、声掛けをしている。栄養師がいる為、指導、助言をもらっている。	○	継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	利用者、職員インフルエンザ予防接種の施行 外出時は手洗い、うがいをしている。 マニュアル作成	○	医療機関への受診時はマスク着用 新型インフルエンザについては県からファックス、インターネットで確認、市役所の研修への参加をしている。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板は熱湯消毒、ふきんはハイター漬けにしている。食材の在庫表を作成したり、冷蔵庫の清掃はオスバンを使用し、整理をこまめにする事で衛生面で気をつけ食材を無駄にせず、新鮮な食材を使用している。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲には防護柵で囲われ入口にはホーム看板を設置している。 玄関周りには花を植えたり、出入りが自由にできるように努めている。自動ドアではあるが、外からは誰でも自由に入れるよう開放する等している。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日差しの強い時には、ロールカーテンを下げる等し廊下、ホールには季節感をもてる飾りつけをしている。 職員同士の会話は利用者の前越しないように努めている。	○	季節を感じられる装飾を今後も作成していきたい。
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの設置、テレビ、音楽鑑賞ができるようにしている。	○	廊下にも椅子を設置していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	家具や茶碗、箸等は使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	○	本人の好み、使いやすい居室づくりを家族の協 力を得ながら行っていきたい。
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状況に 応じてこまめに行っている	換気は自動的に行われている。 掃除、シーツ交換時は窓を開けるなどして いる。暖房の温度調整、温度も温度計を確 認する等市行っている。 加湿器も置いている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	手すり、吊り戸、段差の解消、障害物の 排除により安全かつ自立した生活が送 れるようにしている。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	自室がわかるよう目印をつけたりして いる。トイレにはトイレマークを表示 している。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動で きるように活かしている	建物の内部は別棟への廊下がまっすぐ で運動できるようになっている。 屋外は広大な庭に椅子とパラソルを設 置している。花を植えたり、作物を植 える等の活動ができる場所があり、及 び散歩できるようになっている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 廊下が別棟へ移動しやすく工夫され、運動したり別棟へ遊びに行くなど自由に出来る
- ホールも広く、天井が高くなっている為、威圧感がなく利用者が寛ぎやすい為、自室に閉じこもることがない
- 利用者が季節感を忘れないよう季節の行事、外出する機会を大切にしている。
- 利用者の機能低下防止に毎日体操及びカラオケを楽しんでいる（自由参加）
- 庭園も広く、天気の良い日には散歩を楽しんだり、上記の体操を行ったりしている